



地域を知っているから、
できることがある

「消防団に入って良かったです。そう笑顔を浮かべるのは、昨年3月に伊豆の国市消防団第8分団に入団した一柳さん。平時には地域の家々に新聞を配り、有事には消防団員として出勤する期待のルーキーです。入団のきっかけは、ある先輩団員が消防団について熱心に教えてくれたことでした。「初めは、全く知らないところに入っていく不安がありました。でも、すぐに団員みんなと仲良くなり、今は自分を誘ってくれた人たちに感謝しています」と楽し

そうに話す一柳さん。その一方で、団員に同世代が少ないことに寂しさもあるそう。自身の経験からも、若い世代をはじめ多くの人に消防団活動について知ってもらわなければと、一柳さんは考えています。「プロの消防士も大切ですが、地域のことを一番知っている消防団員を絶やしてはいけません」と力強く語ります。昨年11月、初めて参加した消防フェスタでは地域住民とのふれあいも体験。「消防団の普段の活動は目立ちませんが、イベントにはたくさん子どもたちが来場していました。この中から未来の消防団員が誕生するかもしれないと思うと、気が引き締まる思いでした」。そこには、入団当初の気弱な一柳さんはいません。

伊豆の国市に住んでいるからこそ消防団に入り、続けることができているという一柳さん。「消防団活動は人の命に関わる場面もあり、大変だと感じることもあります。しかし、伊豆の国市の皆さんからかけてもらえる温かい感謝の言葉に、いつもやりがいを感じています」。

今日もまた、一柳さんたち消防団員によって、伊豆の国市の安全と安心が守られています。

CIR (国際交流員) の都市交流奮闘記
アノのあのお



皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今年、「Happy New Year」より、この日本語のあいさつを多くの人に言うことでしょう。私が伊豆の国市に来て5カ月が過ぎました。皆さんのおかげで、伊豆の国市の生活にも慣れてきました。最初は、「日本で働いてみたい」という留学時代の夢を叶えるための来日でしたが、今の私の人生で最も大切なものは、「家族」、そして「息子たち」に変わっていることに気付きました。昨年の8月、伊豆の国市で暮らし始めたとき、私は一人でした。でも、この貴重な体験を息子たちにも味わってほしいと思い、約1カ月後、一緒に日本で暮らすこと

になったのです。10歳と12歳の息子たちは今、伊豆の国市の小中学校に通っていますが、言葉が通じない、知らない所で大変な思いをしているでしょう。日々、いろんな場面でカルチャーショックを受けていると思いますが、親としては、いろんな体験ができる機会を与えてあげたいし、頑張っしてほしいという思いで見守っています。日本とモンゴルの違いを大きく感じるの、あいさつの文化です。モンゴルは、どちらかと言うと欧米に近い文化で、親しい感情を表すときには、握手し、肩をたたき、抱き合い、頬にキスするなどボディタッチをします。しかし日本人は、ボディタッチではなく、言葉のあいさつがほとんどで



▲息子たちと伊豆の国市のアパートにて

す。2人の息子は今、どうやったら友達と仲良くなれるか悩んでいます。先日、英語やモンゴル語では存在しない「お疲れ様でした」、「よろしくお願ひします」の意味を聞かれ、私は納得のいく通訳ができませんでした。それから、いろいろ考えてみました。日本語の代表的なあいさつ「お疲れ様です」は、相手に心理的負担を与えないように気遣いつつ、チャンスがあれば自分の感謝



▲今年もよろしくお願ひします

の意を伝えるというコミュニケーション方法なのです。これは、欧米やモンゴルのボディタッチとは違いますが、相手を敬った素晴らしい日本の文化だと思います。私は、息子2人には、日本語だけでなく、このような日本の文化や日本人の考え方を理解し、常に周りの人々に敬意を表す習慣を身につけてほしいと願っています。それでは、バイラルタエ。

協働まちづくり課 ☎ 055(948)1412

かんたん手話講座 ④5
正月

胸の前に立てた両手人差し指を左右から、同時に引き寄せて、両指を横にして上下に置く。



障がい福祉課 ☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

手話の語源は漢字からできたものや物の形からできたものなどさまざまです。1月を正月というのは「正」という字に年の初めという意味があるそうです。正月の手話は「1月1日」の日付をそのまま表現します。